

平成26年12月16日

**過去最多7名の応援大使の方々
が出走します！！**

京都マラソン実行委員会
取次:文化市民局市民スポーツ振興室
京都マラソン推進担当 TEL366-0314

「京都マラソン2015」出走応援大使の決定について

この度、「京都マラソン2015」(来年2月15日(日)開催予定)を盛り上げていただく応援大使の中から、過去最多となる7名の皆様が出走されることとなりましたので、お知らせします。

《京都マラソン2015応援大使出走者》

フルマラソン

- ◎ 山中 伸弥 さん (京都大学 iPS 細胞研究所所長, 京都市名誉市民)
- ◎ 山田 幸代 さん (プロ・ラクロス選手, 京都産業大学出身)
- ◎ 原 邦夫 さん (スポーツドクター)

ペア駅伝 ※ 早狩氏と奥野氏は、ペアで出走されます。

- 早狩 実紀 さん(1区)(京都光華 AC 所属陸上競技選手, 全国女子駅伝京都チーム監督)*
- 奥野 史子 さん(2区)(スポーツコメンテーター, 京都市教育委員)*
- 島袋 勉 さん(2区)(両足義足のランナー)
- 森脇 健児 さん(2区)(タレント, 洛南高校出身) *「京都スポーツの殿堂」入り

《What's New?》

- * 初出走となる山田幸代さん, 奥野史子さんを含む, 過去最高7名の応援大使が出走されます。
- * 大会史上初めて, 早狩さん・奥野さんという応援大使同士のペアによるペア駅伝も予定されています。
ペア駅伝の中継地は, コース変更により, 新たに含まれることとなった府立植物園の園内です。



【フルマラソン出走!】



(山中 伸弥 さん)

1962年生まれ。1987年に神戸大学医学部を卒業。国立大阪病院臨床研修医を経て、大阪市立大学大学院医学研究科を修了。米国グラッドストーン研究所、奈良先端科学技術大学院大学などで研究を続け、2006年に世界で初めてマウス iPS 細胞作製成功を発表、続いて2007年にヒト iPS 細胞作製成功を発表した。2010年4月に京都大学 iPS 細胞研究所長に就任し、2012年12月ノーベル生理学・医学賞を受賞した。京都マラソン2012では、完走を目標として掲げ、iPS 細胞研究のための寄附を募った。



(山田 幸代 さん)

1982 年滋賀県生まれ。京都産業大学入学後にラクロスを始め、2005 年に日本代表としてW杯出場。2007 年に日本人初のプロ選手となり、翌年からオーストラリアで活躍。2012 年、世界選抜 18 人に選出。2014 年、オーストラリアリーグシーズン最優秀選手。現在は京都産業大学創立 50 周年広報大使「むすびわざアンバサダー」、同大学大学院マネジメント研究科に在学中。2017 年ラクロス W杯にオーストラリア代表として出場し、金メダルを獲得することを目指している。



(原 邦夫 さん)

1955 年京都市生まれ。1981 年京都府立医科大学を卒業。現在、京都鞍馬口医療センター（旧社会保険京都）整形外科部長、京都府立医科大学特任教授として勤務。フィギュアスケート高橋大輔選手、女子マラソン野口みずき選手、京都サンガの選手などアスリートの治療を行うとともに、「なでしこジャパン」のチームドクターとして、2011 年ドイツワールドカップ優勝、2012 年ロンドンオリンピック銀メダル獲得など、選手を陰で支えている。
自己ベスト フル：2 時間 58 分 58 秒、ハーフ：1 時間 19 分 20 秒

【ペア駅伝出走！】



(奥野 史子 さん)

京都市生まれ。同志社大学大学院修了。シンクロナイズドスイミング元日本代表。92 年バルセロナ五輪で銅メダルを獲得。現在はスポーツコメンテーターとして各メディアで活躍するほか、京都市教育委員や日本水泳連盟アスリート委員を務める。3 児の母。
2012 年「京都スポーツの殿堂」入り。



(早狩 実紀 さん)

1972 年 11 月 29 日京都市生まれ。宇治市立槇島中学校時代から陸上を始め、京都府立南八幡高校（現 京都八幡高校）、同志社大学を経て、現在光華女子学園勤務、京都光華アスレティッククラブ所属。京都で行なわれる全国女子駅伝には 23 回出場、今年の京都府チームの優勝監督でもある。トラックでは女子 3000m 障害の第一人者として、オリンピック・世界陸上などに出場。3000m 障害日本記録保持者。
2014 年「京都スポーツの殿堂」入り。



(島袋 勉 さん)

1963年沖縄県那覇市生まれ。2001年アメリカのIT事業視察の帰り、千葉県にて踏切事故により両下腿切断。高次脳機能障害（記憶障害）を負う。2004年11月両足義足でトリムマラソン3キロに初挑戦。2004年12月ホノルルマラソンへ初挑戦。それからバンクーバー・ゴールドコースト・NYシティ・ロンドンマラソン等各地マラソンに出場。「あきらめない習慣」を身に着けるためマラソン、自転車、登山を続けている。

【主な著書】「義足のランナー」（文芸社）「夢をあきらめない」（ごま書房新社）



(森脇 健児 さん)

日本全国を飛び回り、テレビ・ラジオに幅広く活躍。中学・高校と陸上部に所属・100m11秒02を記録し、インターハイにも出場している。最近では「森脇健児陸上競技部」を発足し、春・秋のTBS「オールスター感謝祭」のミニマラソンにおいてはハンデがありながらも常に上位の成績を収める。

ベストタイムは、10キロ：38分28秒、ハーフマラソン：1時間27分03秒、フルマラソン：4時間11分